

SecureSphere パッチインストール手順

対象バージョン: v10.0,v10.5,v11.0,v11.5,v12.0



NVC

-バージョン10.0、10.5のパッチアーキテクチャ(64bit/32bit)について

・パッチは2種類ございます。
 パッチアーキテクチャはOSアーキテクチャ(bit数)に合わせる必要がございます
 OSアーキテクチャの確認方法はAppindex 1を参照してください。
 <u>※バージョン11.0,11.5,12.0は64bitのみです。</u>
 ご不明点がございました場合は
 弊社カスタマサポートまでお問い合わせください。

-ワンボックス構成の場合

- ・管理サーバに対するパッチの適用で 内部ゲートウェイにもパッチが適用されます。
- ・通信断はパッチのスクリプト実行時および機器の再起動時に発生します。

-MXサーバ/ゲートウェイ構成の場合

- ・管理サーバとゲートウェイのそれぞれに対して
 パッチを適用する必要があります。
 管理サーバ -> ゲートウェイ の順でパッチを適用します。
 ・通信断はゲートウェイに対する
 - パッチのスクリプト実行時および再起動時に発生します。

パッチインストール手順



1. 最新パッチを下記NVCサポートページからダウンロードします。

https://gold.nvc.co.jp/downloads/imperva/downloads/software/securesphere/

Index of /downloads/imperva/downloads/software/securesphere

Name	Last modified	Size Description
Parent Directory		-
<u>9.5/</u>	2016-11-24 10:50	-
<u>10.0/</u>	2015-02-11 18:46	-
in <u>10.5/</u>	2015-02-11 18:46	-
iii.0/	2016-09-15 13:27	-
i <u>11.5/</u>	2016-09-13 09:58	-
<u>12.0/</u>	2017-02-08 15:08	-
DC Update Record/	2018-01-17 11:21	-
CVE-2014-6271/	2015-02-11 19:07	-
CVE-2015-0235/	2015-02-11 19:07	-
CVE-2017-5638/	2017-03-16 15:14	-
CVE2014-0094ApachStruts ClassLoader mai	nipulation/ 2015-02-11 19:07	-
Checksum_utilities/	2015-02-11 19:07	-
DAN/	2015-02-11 19:07	-
🛅 <u>crossbeam_ssgw_new_cbi/</u>	2015-02-11 19:07	-
adoc/	2018-01-22 10:59	-

2.管理サーバに対してSSHアクセス を行い、一般ユーザ(v12OSではadmin ユーザも可)にてログインします。

3.下記コマンドにてrootへ昇格します。 "admin"

172.16.13.25 <mark>0 - Tera Term </mark> //T			
ile Edit Set SSH Authenticat	tion		
Logging in to 172.1	6.13.250		A
Authentication req	uired.		
User <u>n</u> ame	e: user		
Passphrase			
	Remember password in memory		
	Egrward agent		
O Use plain pase	sword to log in		
O Use <u>R</u> SA/DSA/ECDSA/ED25519 key to log in Private key file:			
🔘 Use r <u>h</u> osts to	log in (SSH1) Local user name:		
O Use <u>challenge</u> /response to log in(keyboard-interactive)			
O Use Pageant to log in			
	OK <u>D</u> isconnect		

パッチインストール手順



3.SCP(v12.0 OSの場合はSFTP)を使用してダウンロードしたパッチファイルを /var/tmp のディレクトリにコピーします。





4."cd /var/tmp" コマンドを実行して/var/tmpディレクトリに移動します。



パッチインストール手順

NVC

5."chmod +x [パッチファイル]"を実行して、パッチファイルの権限を変更します

Sile Edit Setup Control Window KanjiCode Help			
<pre>[root@M110 tmp]# chmod +x ./SecureSphereV11.5.0-x86_64-Patch40_0.x [root@M110 tmp]# II ./SecureSphereVII.5.0-x86_64-Patch40_0.x -rwxr-xr-x 1 root root 845834050 Nov 24 20:48 ./SecureSphereV11.5.0-x86_64-Patch 40_0.x [root@M110 tmp]# []</pre>			
6."./[パッチファイル]"を実行して、パッチのスクリプトを実行し (ワンボックスの場合、通信の瞬断が発生します。)	<i>、</i> ます。		
Sile Edit Setup Control Window KanjiCode Help	8		
<pre>[root@M110 tmp]# chmod +x ./SecureSphereV11.5.0-x86_64-Patch40_0.x [root@M110 tmp]# ./SecureSphereV11.5.0-x86_64-Patch40_0_x - moveserex 1 root root 845834050 Nov 24 20:48 ./SecureSphereV11.5.0-x86_64-Patch 40_0.x Lroot@M110 tmp]# ./SecureSphereV11.5.0-x86_64-Patch40_0.x []</pre>			

7.実行が完了したら、以下のコマンドを入力して機器を再起動します。 (ワンボックスの場合、通信断が発生します。) #impctl platform reboot



パッチインストール手順

NVC

8.起動したら、必ずADCコンテンツを更新させます。 GUIにアクセスをしてAdmin -> ADC を開き、 ImpervaのサイトからADCコンテンツファイルをダウンロードします(①・②)。

Imperva SECURESPHERE* Licensing Users & Permissions Sessions ADC System Definitions ADC Content	9.ダウンロードしたファイルを システムにアップロードします(③・④)。
Download Download ADC content package to the client machine 参照 ファイルが選択されていません。	※ <u>ワンボックスの場合はここで終了です。</u>
Upload available ADC content to SecureSphere Content.mprv を開く	© IMPERVA SECURESPHERE
次のファイルを開ごうとしています: ② content.mprv ファイルの種類: MPRV ファイル (11.0 MB) ファイルの場所: https://www.imperva.com このファイルをどのように処理するか選んでください ③ プログラムで開く(Q): メモ帳 (既定) ▲tt ○ クァイルを保存する(S) Att ○ 人名 ○ ファイルを保存する(S) ○ 人名 ○ 〇K	Licensing Users & Permissions Sessions ADC System Definitions ADC Content -Manual ADC Update -Manual ADC Update

パッチインストール手順



※<u>MXサーバ/ゲートウェイを個別配置している場合</u>

・MXサーバに対してパッチを適用した後に 各ゲートウェイに対して、手順2.~7.を実行します。

・MXサーバ/ゲートウェイ構成では、 ゲートウェイに対する手順6.と7.にて<mark>通信断</mark>が発生します。

Appendix 1



- OSのアーキテクチャ確認方法
 - 下記コマンドにてOSのアーキテクチャ(bit数)を確 認可能です
 - # uname –m
- 出力結果が"i686"の場合、32bit用パッチを適用します
- 出力結果が"x86_64"の場合、64bit用パッチを適用します